

先輩メッセージ

Q1 だから、愛教を選んだ！

Q2 こんな受験対策をした！

A1 同じ興味を持つ仲間と、学びを深められる

「教育大学」であるからこそ、同じ教育に興味を持つ仲間と学びを深められると感じたからです。「子どもの声が聞こえるキャンパス」というキャッチフレーズにある通り、学生がイベントを企画して地域の子どもたちを招くなど、子どもたちとの関わりの機会もたくさん。自分の興味を追求できる環境に満足しています。

A2 日ごろから教育関連のニュースをチェック

私は学校推薦型選抜で受験しました。集団面接対策としておすすめなのが、教育に関する情報にアンテナを張り、まとめておくこと。同じ系統の進路を目指す友人との意見交換も、視野を広げるのに役立ちました。また、長い通学時間を有効活用して暗記科目を強化するなど、自分なりの勉強スタイルを確立する工夫もしました。

学校教員養成課程 幼児教育専攻2年 私立皇學館高等学校出身

A1 2分野を同時に学べる理想的な環境

興味のある「教育工学」と「情報教育」の両方を学べる環境に魅力を感じました。
全国有数の教育の総合大学であり、実践教育を通して伸びやかに学べる点や、中学校「技術」と高校「情報」の教員免許が同時に取得できる数少ない大学だったことも決め手になりました。

A2 課外活動にも積極的に参加

大学入学共通テストは基礎的な知識が問われるので、教科書やオンライン学習教材を活用し、基礎固めに注力。アウトプットを重視し、多くの問題を解くことを心掛けました。学校推薦型選抜など、学力以外の活動を評価してもらえる試験での挑戦も見据え、高校では部活動などの課外活動に積極的に参加しました。

学校教員養成課程 義務教育専攻 ICT活用支援専修2年 私立成田高等学校出身

A1 複数の免許が取得できることに魅力

高校入学後、「誰かに教える」ことが好きだと気付き、教師を目指すようになりました。愛教大を選んだのは、小・中・高校に加え、幼稚園や特別支援学校教諭の免許状も取得可能と知ったから。多様な進路の可能性に引かれました。実家からの距離や、恩師の多くが本学出身だったことも後押しになりました。

A2 積み重ねた努力が自信につながる

総合型選抜と学校推薦型選抜で受験しました。面接練習は高校の先生に何度もお願いし、フィードバックをもらいながら磨きをかけました。これまでに印象に残った国語教材を伝えられるよう、小・中学校の国語教材を読み返したり、教育関連のニュースを調べたり、その一つ一つの積み重ねが自信につながったと思います。

学校教員養成課程 義務教育専攻 国語専修3年 愛知県立安城高等学校出身

先輩たちは何を学びたくて、どのような考えで愛知教育大学を選んだのでしょうか？

ここでは各専攻、コースの学生が志望大学を愛知教育大学に決めるまでの葛藤を語りました。

また入学後に感じたことや、これから学びたいことについても話してもらいました。

A1 数学教育講座の規模は全国でも有数

教員採用者数が全国1位の実績に魅力を感じて進学を決めました。また、愛教大の数学教育講座の規模は全国の教育大学でも有数です。大学1年次から学校体験活動を通じて現場の経験を積めることも大きなポイントでした。実際、愛知県内で教鞭をとる多くの先生方とのつながりができ、将来に役立つ気付きを得られています。

A2 先生の協力を得て、納得いくまで準備

学校推薦型選抜で提出する「志望理由書」は、高校の国語の先生に添削をお願いし、ブラッシュアップしました。「面接」は、数学の先生に協力いただき、定理の証明などを説明できるよう2か月かけて練習。教育にまつわる時事対策にも力を入れて納得いくまで準備を行ったことが、良い結果につながったと思います。

学校教員養成課程 高等学校教育専攻 数学専修3年 愛知県立春日井高等学校出身

A1 点字や手話の専門知識も学べます！

特別支援学校の教員になることが私の目標。愛教大は、特別支援教育の5領域すべてを学ぶことができ、点字や手話などの専門知識も得られる点が魅力でした。入学して一番良かったのは、専攻のメンバーとの出会い。普段の会話を手話で行いながら練習するなど、互いに高め合える存在です。

A2 自分なりの「考え」を持つことが大切！

大学入学共通テストに向けては、繰り返し演習を行い、分からない問題は先生や友人に相談して疑問を残さないようにしました。二次試験対策では、特別支援教育への興味や教員になりたい理由を深めて整理。自分の考えを明確にすることで、どのような質問にも自信をもって答えられる準備ができたと思います。

学校教員養成課程 特別支援教育専攻3年 国立愛知教育大学附属高等学校出身

A1 教員を志す姉の姿に背中を押されて

小さいころから子どもが好きで教育の道に進みたいと思っていました。愛教大への進学を決めたのは、本学で教員を目指し、頑張っている姉の姿を間近で見ていたから。教員志望の仲間がまわりに大勢いて、サポートも手厚く、実習が充実しているなど、4年間を通じて学びを深められる環境に魅力を感じました。

A2 模試の復習を徹底して苦手を克服

大学入学共通テストに向けては、模試を活用。成績が伸び悩む時期もありましたが、間違えた問題の復習に時間をかけることで、徐々に点数も上がっていきしました。愛教大の二次試験は独自の出題がされるので、過去問を繰り返し解き、先生に添削してもらったほか、養護や保健に関する文献で知識を深めました。

学校教員養成課程 養護教育専攻2年 愛知県立一宮西高等学校出身

Q1 だから、愛教を選んだ！

Q2 こんな受験対策をした！

A1 心理と教育が学べるカリキュラム

スクールカウンセラーを目指す私にとって、心理だけでなく教育や子どもについて学びを深められる環境は、理想的でした。また、教師を目指す仲間と関わることで、将来の役に立つと考えました。実際、他学科との交流が多く、現場を体験できる学校体験活動も充実しており、学びの幅を広げてくれると感じています。

A2 過去問は先生の添削を受け何度も復習

大学入学共通テストが終わってからは、過去問をすべて解き、担当の先生に添削してもらいながら何度も書き直しました。また、心理に関する本を2週間で10冊以上読むなど、さまざまな分野の理解を深めました。実際、受験で役立ったのは身に付けた知識の10分の1程度ですが、やった分だけお守りになると思います。

教育支援専門職養成課程 心理コース3年 愛知県立国府高等学校出身



A1 スクールソーシャルワーカーを目指して

もともとは、不登校やいじめの支援に携わる養護教諭を目指していたのですが、本学のホームページでスクールソーシャルワーカーの存在を知り、その役割に興味を持ったことがきっかけです。一人一人の学びたいことに対して丁寧な指導をしてくださり、少人数講義で学びを深め合える環境に満足しています。

A2 福祉に関する記事や書籍で見解を深めた

二次試験の総合問題対策としては、国語科の先生に過去問を添削してもらい、複数の資料を比較して意見をまとめる練習を繰り返しました。また、福祉に関する記事の切り抜きや、不登校やいじめ対策に関する本を読み、知識を深めていきました。この積み重ねが当日の自信につながったと思います。

教育支援専門職養成課程 福祉コース3年 愛知県立江南高等学校出身



A1 公務員になるための支援が充実

公務員試験への支援が充実していて、教育や社会問題について幅広く学べる点に魅力を感じたからです。実際、教育について法律や心理、福祉や経営など多面的な視点で学びを広げられる授業が充実していると感じます。将来、教育を支える仕事に就きたい人はもちろん、幅広い知識を身に付けたい人にもおすすめです。

A2 社会問題に対する自分の意見を整理

二次試験に向けては、日本の社会問題について自分の意見を整理し、過去問を使って論述・口述練習を繰り返しました。教育に関連した社会問題が出題されることもあるため、過去問で傾向を把握することがおすすめです。大学入学共通テスト対策としては、基礎を早めに固め、演習と復習を徹底しました。

教育支援専門職養成課程 教育ガバナンスコース2年 愛知県立岡崎西高等学校出身

